

令和4年度 高校生ものづくりコンテスト(溶接作業部門)島根県大会結果報告

7月22、23日に島根県立益田翔陽高校において、標記大会が行われました。島根県内の3校から出場した代表選手10名が、溶接技術を競い合いました。本校からは、**機械科3年生の青山陽向君、福田渉君、仲田陸弥君の3名**が出場しました。この競技は**50分間の競技時間**内に鉄板材料を溶接加工で箱型に組み、その溶接技術の**正確さ**(寸法、溶接部の外観)を採点します。更には、完成された作品に対して水圧を加え、**強度検査**を行って**総合得点**で評価を行います。

結果、**3人とも制限時間内に見事に作品を完成**し、その内、青山君が全体で**2位**、福田君が**3位**となり、8月20日・21日に岡山県立東岡山工業高等学校で開催される**中国大会の出場権を獲得**しました。

3人とも、運動部に所属し、活動しながら、**課題研究**(=総合的な探求の時間)の中で練習に取り組んできました。前日の練習では、**3人ともに上位入賞が狙えるところまで来て**いましたが、「**本番は、難しかった。**」と語っていました。それぞれに、次の目標を設定して更なる成長を誓っていました。**勝敗ではなく、やってきたこと、それ自体に大きな意味があり、そこで学んだことを今後の学校生活で活かして行って欲しい**と思います。

新型コロナウイルス感染症の拡大のため、大会の実施も心配していましたが、**益田翔陽高校の先生方を中心としたご支援のお陰**で無事に大会が終えられたことに対して、生徒共々、深く感謝をしているところです。また、わざわざ、この大会のために松江から益田まで応援に来ていただいた**本校の宇津校長先生**にも、勇気づけて頂きました。皆様、たいへんにお世話になりました。ありがとうございました。

